

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和地域活性化事業							事業コード	130312					
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充							
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所 属	02080000 地域振興部三和支所				所属長	井上浩人							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	90	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名				R5現在の状況	継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントである。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。					
対象者	三和地域の市民及び一般参加者		対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,050		1,050		950		950				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		1,050		1,050		950		950				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1,050		1,050		950		950				
決算情報	① 流充用額	△ 1,050		0								
	② 配当予算	0		1,050								
	③ 執行額	0		412								
	④ 執行率			39.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.05	0.30	/	0.01			/		
	② 概算人件費	1,405		2,425								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,405		2,837								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	三和地域活性化事業基金繰入(地域振興基金)			種類	基金繰入金		412		40	頁
							実績金額					
							実績金額		決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	来場者数	人	中止	/	4500	中止	/	4500	1000	/	4500
	延べ参加団体数	団体	中止	/	65	中止	/	65	44	/	65
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	実行委員会開催回数	回	2	/	9	1	/	9	4	/	5
	単位あたりコスト		0.0		0.0		103.0				
	単位あたりコスト		/		1		/		/		三和地域活性化事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	・令和4年11月12日、13日に開催した三和ふれあいフェスティバルについては、子どもから 高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りの イベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものと認識している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	・約3年ぶりの開催となった令和4年度の三和ふれあいフェスティバルについては、「新型コ ロナウイルス感染症に係る市主催イベント等実施ガイドライン」を遵守したうえで、模擬店 において現地での調理を不可とし、調理済みの物のみ販売を行う等、より安全性を高める 工夫をして実施した。 ・持続的な開催をすべく、令和4年度より、三和地域の住民から協賛金を募っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域の人口が減少するなかで、農産物の品評会、 文化活動の発表の場を提供するもので、実行委員会では、これまでと同様の来場者を達 成すべく、駐車場や人員の確保等の諸課題に取り組まれている。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される 実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産 物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により約3年ぶりの開催にも関わらず、44団体もの参加があった。このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店 の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の 自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。 ・令和4年度の来場者が令和元年以前(約4000人)と比較し減少した。これは、「令和2年度、令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止したこと。」「令和4 年度において会場内の食事を禁止したこと。」「会場での調理を禁止したこと。」「当日が雨天であったこと。」など、様々な要因が考えられるため実行委員会での検証 が必要である。 ・令和5年度は、三和荘改修工事中であり、三和荘での開催が出来ないため、開催方法の検討が必要である。 ・将来的に人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。 ・駐車場として活用していた「アネックス京都三和の区画」が売買され、新たな駐車場が必要である。		
改 善 策	・三和ふれあいフェスティバルについては、実行委員会を中心に地域住民に対し、地域交流のための最も重要なイベントであることを認識していただき、引続き住民 などから協賛金を募るなど、住民が一丸となって守り、作り上げるイベントとして存続を図る。 ・実行委員会において、事務局を中心に現状の諸課題について積極的に検証することで、持続的な実施方法を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なイベントであるため、継続した助成を行う。 三和ふれあいフェスティバル以外の三和荘、三和地域ならではのイベントの立ち上げも検討し、実行委員会への支援を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域振興センター管理事業							事業コード	130205					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所 属	02100000 地域振興部 大江支所					所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	88	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。				
対象者	大江駅利用者	対象者数	34,244	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,803		1,835		1,960		5,371					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
		前年度繰越	0		0		0						
		次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		1,803		1,835		1,960		5,371					
予算財源内訳	① 一般財源	1,266		1,325		1,442		1,443					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	537		510		518		3,928					
決算情報	① 流充用額	0		41									
	② 配当予算	1,803		1,876									
	③ 執行額	1,752		1,876									
	④ 執行率	97.2%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.18	/	0.00	/					
	② 概算人件費	800		1,440									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,552		3,316									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	自動販売機設置貸付収入(大江支所)		種類	財産貸付収入		210		決算附属資料	36		頁
			自動販売機等電気代等(大江町地域振興センター)			雑入		15			46		
			地域振興センター占有者負担金			雑入		287			48		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	大江駅乗降者数	人	29184	/ 50000	23679	/ 50000	34244	/ 50000	/ 50000		50000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	大江駅周辺イベント回数	回	1	/ 3	0	/ 3	0	/ 3	/ 3		3
	単位あたりコスト		0.1								
	単位あたりコスト		/		3 /		/		/		地域振興センター管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設であり、大江観光(株)及び福知山市商工会の業務により、大江地域を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる施設である。当施設の維持管理経費である水道代、電気代等を支出するもので、必要性が高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	施設を維持管理する水道代、電気代等の費用を大江観光(株)及び福知山市商工会に占用割合に応じた施設管理費を負担をしていただいているため、効率的に事業を実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	施設を良好な環境に保つことで、好印象を与え、大江駅の利用者や観光客が増加し、大江地域の観光等の産業の発展につながることが期待できるため、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	大江地域を訪れる方々に、きめ細やかな対応ができていることから、現在の事業規模で継続的に実施する。当施設は、京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設である。関係課及び関係団体と連携し、大江地域の玄関口としての賑わいの創出と京都丹後鉄道の利用を増加させる施策を実施していくためのインフラ事業として継続する必要がある。		
改 善 策	新型コロナにより中止になったイベントの再開により、賑わいの創出に繋げる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 ☐ 他事業へ統合	(統合事業名:) (統合先事業名:)
--------	--	--	-------------------------

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	姉妹都市交流促進事業							事業コード	130112					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	98	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名				R5現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	島原市と行政間だけでなく、市民ぐるみで、人・物・文化などの交流を促進し、相互理解や友好の絆を深める					
対象者	福知山市民 島原市民		対象者数	119,320	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	184		182		182		415		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
		前年度繰越	0		0		0			
		次年度繰越	0		0					
小計(①～③)		184		182		182		415		
予算財源内訳	① 一般財源	184		182		182		415		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	184		182						
	③ 執行額	57		70						
	④ 執行率	31.0%		38.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.08	/	0.00	/		
	② 概算人件費	800		640						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		857		710						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	物産展来場者	人	0	/	3000	0	/	3000	1000	/	3000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	物産展等の開催	回	1	/	2	1	/	2	2	/	2
		単位あたりコスト	0.0				35.0				
			/		5		/		/		姉妹都市交流促進事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	第30回福知山マラソン大会で「島原物産展」を実施 姉妹都市提携記念日において「島原パネル展」を実施 島原市と昭和58年3月に結んだ姉妹都市提携に基づき、相互理解や交流を通じて友好を深めていく必要がある。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	本市で実施しているイベントや島原市と連携して事業を行うことで、広報など実施に係るコストを削減するとともに、市民だけでなく市外の方の参加を促し、事業の活性化や関心を持ってもらい機会につなげるなど効率化を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	イベントなどを通じて、姉妹都市・島原市のことを知っていただく機会になるだけでなく、福知山市民の島原市への愛着や友好の深まりを感じることができた。 成果実績については、物産展に従事した職員により把握をした。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・第30回福知山マラソン大会において実施した「島原物産展」では、新型コロナウイルスの影響もありイベント参加者が減少したこと、また3年前まで行っていた具雑煮の提供を見送ったことなどにより、目標値は達成できなかったが、物産展は好評であり、楽しみにしておられた方の多くの声を聞くことができ、これまでもからの取組の成果であると感じた。 ・また、島原市からも来福いただき、販売にも携わっていただくことで島原市のPRや姉妹都市であることの周知につながった。 ・多くの世代に姉妹都市島原市のことを知ってもらい、今後も友好の絆を深めていけるような取組を行う必要がある。 ・福知山マラソンにおいて実施した「島原物産展」にあわせて、当初、島原市の郷土料理「具雑煮」の提供を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため実施を見送った。そのため材料費等の支出が不要となり予算執行率が低くなった。		
改 善 策	・令和5年に姉妹都市提携40周年を迎えるため、記念事業などに市民の参加を呼びかけ交流を行う。 ・島原市と連携し、広報誌やSNSなどを活用して相互の魅力を発信し、相互理解につなげる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	関係課とも連携し、姉妹都市 島原市との交流やPRを行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふくちやまサポーター拡大事業							事業コード	810560					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	98	頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名				R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	地方税法等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	人口減少や都市圏への人口集中が加速するなか、市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくため、多様な形で関わっていただく方々(関係人口)を増やすことが重要となっている。そこで関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援してくださる方々の拡大を図る。				
対象者	市外居住者		対象者数	－	単位あたりコスト
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算 情報	① 当初予算	285,177		475,421		620,618		680,089		
	② 補正予算	216,945		76,976		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
	小計(①～③)	502,122		552,397		620,618		680,089		
予算 財源 内訳	① 一般財源	184,788		180,622		228,242		252,048		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	317,334		371,775		392,376		428,041		
決算 情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	502,122		552,397						
	③ 執行額	480,037		530,358						
	④ 執行率	95.6%		96.0%						
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・非常勤嘱託職員)	0.72	/	0.50	0.93	/	1.15	/		
	② 概算人件費	7,010		10,315						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		487,047		540,673						
主な利用特財 (N－1年度実績値)	特財名称	福知山市ふるさと納税寄附金			種類	総務費指定寄附金		345,957		36
		ふくちやまサポーター拡大事業基金繰入(ふるさと納税基金)				基金繰入金		775		42
						実績金額				頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数		人	3149	/ 1000	3208	/ 3200	3470	/ 3300	/ 3400	3700	
	ふるさと納税額目標達成率		%	201.3	/ 100	166.9	/ 100	110	/ 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	ふるさと納税サイト活用件数		件	4	/ 3	5	/ 3	6	/ 3	/ 6	6	
	単位あたりコスト			93066.3		96007.4		88393.0				
	会員募集に関する情報提供回数		回	13	/ 10	12	/ 10	10	/ 10	ふくちやま19	サポーター10	拡大事業
	単位あたりコスト			28635.8		40003.1		53035.8				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	総務省によると、2021年度のふるさと納税での寄附額は前年度を23%上回る過去最高額の8,302億円となり、市民、社会のニーズが高いことが明確である。 人口減少期に重要となる関係人口拡大に向けた取り組みとして、ふるさと納税制度も活用しながら、福知山を応援していただける「いがいと！福知山ファンクラブ」会員を増やすことは必要である。 「いがいと！福知山ファンクラブ」市外全員に対してメルマガ配信、体験型返礼品の開拓(体験ツアー、ゴルフ)、竜王戦や第30回福知山マラソン大会にあわせふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	多くの方々(令和4年度寄附件数:20,584件)からの寄附に関連する事務(寄附収納、返礼品受発注、寄附者窓口対応、返礼品提供事業者との連携など)を民間業者に業務委託した。 また、ふるさと納税寄附者に「いがいと！福知山ファンクラブ」会員加入の案内を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	ふるさと納税で福知山に寄附いただいたの方々(寄附件数:20,584件)に、「いがいと！福知山ファンクラブ」入会案内を送付した。 寄附受付サイト上での返礼品の見せ方に工夫を凝らし返礼品を通して本市や事業所を知ってもらえる情報発信を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	ふるさと納税では、平成28年度に民間事業者(さとふる)の活用により寄附者がアクセスしやすい環境整備をしたことで寄附件数、寄附額とも一定数を確保できている。令和4年度では、寄附者がアクセスしやすい環境を構築し(委託業者の見直し:令和5年度より実施)、過去最高の寄附額345,957千円を集めた。また、平成30年度からクラウドファンディング型ふるさと納税にも取り組んでいる。 また、企業版ふるさと納税では、企業訪問等により、平成29・30年度で1社から、令和元年度で2社、令和2年度で1社、令和3年度で3社、令和4年度で5社からの寄附実績があった。 「いがいと！福知山ファンクラブ」会員について、令和元年度より新たに福知山の魅力が描かれたオリジナル会員証を発行している。令和4年度では、会員が3,470人と増加し、多くの方に福知山の魅力を発信し、良い関係構築に努めている。 このように過去最高の寄附額を集めたこと、また、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員が増加したことは、評価できる。 課題としては、ふるさと納税制度に注力する自治体が増え、競争が激化しており、今まで以上に魅力的な返礼品を開発するなど取り組みの強化が求められている。		
改 善 策	ふるさと納税での自治体間競争に対応するため、新たな返礼品の開拓、定期便や体験型返礼品の開拓、また新たなサイト追加などにより寄附確保の体制を強化するとともに、継続的に福知山市を応援いただける関係人口の増加に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	引き続き、税外収入としてのふるさと納税寄附額を確保することとあわせ、体験型のふるさと納税返礼品の活用等により、多くの人に本市の魅力を伝え、福知山ファンを獲得し、関係人口を拡大させる機会として取り組む。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ホームページ運営事業								事業コード	820107						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充								
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得							施策コード	132						
事業担当	所 属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	02 文書広報費		会計	01 一般会計		決算附属資料	70		頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R5現在の状況		継続中		
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広くPRする。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全なくらしを確保する。				
対象者	市民・不特定多数の人々		対象者数	-	単位あたりコスト
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	1,054		1,155		4,654		915			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		1,054		1,155		4,654		915			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	359		435		3,926		187			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	695		720		728		728			
決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 195							
	② 配当予算	1,054		960							
	③ 執行額	854		854							
	④ 執行率	81.0%		89.0%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.51	/	0.00	0.38	/	0.00			/	
	② 概算人件費	4,080		3,040							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,934		3,894							
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	ホームページ広告料		種 類	雑入		278		44	頁
			ホームページ保守業務負担金			雑入		87			
						実績金額				決算附属資料	50

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	アクセス件数(月平均)	件	361504	/	80000	445922	/	150000	250804	/	150000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	掲載件数	件	2606	/	900	2546	/	900	2378	/	900
		単位あたりコスト	0.3		0.3		0.4				
			/		9		/		/		ホームページ運営事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	本市の情報・魅力を全国発信した。 災害発生など緊急時には、迅速、的確に情報を市民に伝えた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	専門的な保守点検管理業務を委託することで、システム障害の回避や常時の動作確認、新コンテンツの作成にかかる人件費を抑制した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	各所属がホームページを更新する運営体制により、タイムリーに市政情報を広く発信した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。令和元年度において、各担当課がホームページを作成し、秘書広報課で管理等を行いながら、的確な情報発信に努めている。 また、ホームページリニューアル時に、議会事務局、市民病院、上下水道部のHPを市HPに統合、さらに令和元年度において消防のHPを統合することで、経費の削減を図った。 令和4年度においても、新型コロナウイルス関連情報など市民が求める情報をホームページを中心に各SNSも活用し、迅速、的確に発信することができた。課題は、全職員がホームページの更新をはじめとする効果的な広報のタイミングを理解することが求められる。また、各SNSの活用が進むにつれ、ホームページのアクセス数は減少傾向にある。		
改 善 策	インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく、分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要であることから、市職員全てが情報発信者である意識を持ち、効果的に情報発信するために、職員PR研修等により継続的に学ぶ機会を設ける。 また、ホームページだけでなく、各種SNS、アプリを用いた情報発信を充実させるため、各部、課毎のSNS運用も拡大し、市民のニーズに対応した運営を行う。		

Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分 ☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	評価を踏まえた見直し内容 引き続き、情報発信の中心としてホームページ運営を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☒ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山PR戦略総合推進事業							事業コード	820134					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充							
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課				所属長	濱田 亜希子							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	98・100	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市の地域ブランドを高めて福知山ファンを増やし、関係人口(多様な形で関わる市外の人々)・交流人口の拡大と、市民のシビックプライドの醸成を図る。				
対象者	市内外の人々		対象者数	—	単位あたりコスト
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	37,335		36,444		38,000		31,733			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		37,335		36,444		38,000		31,733			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	12,500		17,218		18,777		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	24,835		19,226		19,223		31,733			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	37,335		36,444							
	③ 執行額	35,126		35,807							
	④ 執行率	94.1%		98.3%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	3.24	/	0.50	1.68	/	0.40			/	
	② 概算人件費	27,170		14,440							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		62,296		50,247							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山PR戦略総合推進事業(地方創生推進交付金)		種類	総務費国庫補助金		16,662		16	頁
			福知山PR戦略総合推進事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金		17,598			
			物品売払収入(いがいと！ポロシャツ)			物品売払収入		1,200			
						実績金額		決算附属資料		42	
										36	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	人	3149	/	1000	3208	/	3200	3470	/	3300
	mGAP市民の地域推奨意欲指数	%	—	/	—	-37.7	/	—	-30.5	/	-37
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	プレスリリース配信(R3から他事業 のリリース配信含む)	件	42	/	10	61	/	40	65	/	40
	単位あたりコスト		942.2		878.2		550.9				
	メディア記事掲載件数(R3からWeb 転載含む)	件	400	/	200	1,597	/	800	1817	/	800
	単位あたりコスト		98.9		42.4		19.7				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○光秀マインドプロジェクトVol.3「福知山の変」… 大河ドラマ終了後の社会の変化を踏まえ、「光秀のまち」ブランディング深化のため、明智光秀のように福知山で挑戦する人を応援する市民参加型の企画を始動。「光秀そっくりさんの結果発表」「本能寺の変から440年目の発表」という話題性を加え、市内にとどまらず全国や関西圏の注目を集め、全国ネット含むTV9件や広報・広告専門誌など幅広く報じられた。 ○「鬼文化PR事業」… 「鬼」への社会的関心の高まりを受け令和3年度から継続して実施している。絵巻物やゆかりのスポットといった市の資源を現代にアップデートした手法で発信し、価値を高めている。	☒ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○他事業と運動することで、効率的にアウトプットの量を増やし、単位あたりコストを前年度より下げた。 ○鬼文化PR事業／福知山市PR力強化業務 … 公募型プロポーザルにより、最も評価の高い事業者を選定した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○アウトカム … 市外への効果を図る指標は、まちづくり構想の指標である「いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数」。市内対象の指標は、シビックプライド醸成を定量化する指標mGAP(modified Gross Area Participation／修正地域参画総量指標)の一部項目である。まちづくり構想市民アンケートの中に質問を追加し測定した。(令和4年12月調査) ○アウトプット … 投入資源(人件費)が減ったが、有効な活動に資源を割いたことで、アウトプットやアウトカムは見込み以上となった。 ○福知山城マインクラフト … 福知山公立大学と協働。学生など外部の優れた人的資源の活用が十分に行われた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【自己評価】明智光秀主人公の大河ドラマ放送に伴う令和2年度までの重点テーマ「明智光秀」を深化させるべく、令和3年度から「まちづくりの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動(光秀マインドプロジェクト)と、「光秀以外の地域ブランド育成」「市役所・市全体のPR力向上」という新たなテーマとの三本柱により、業務指標に貢献している。 令和4年度は、アウトカム・アウトプットとも目標を達成したほか、以下のとおり様々な数値にて成果が現れている。 ○本事業の企画、竜王戦事業や他部署のプレスリリース計65件の添削・配信を行い、掲載数約1800件(転載含む)、広告換算額約14億円を記録。 ○鬼の動画2種の総再生数が約96万回。日本の鬼の交流博物館の来館者数が、コロナ前と比較して127%に。(R4 10,722人／H27～R1平均8,439人) ○シティプロモーション市民アンケート「広報やシティプロモーションの強化によって、まちの変化を感じますか？」⇒感じる62% (令和4年2月調査) ○受賞 令和2～4年度の本事業での活動に対して、12アワードを受賞(令和5年8月現在)。全国広報コンクールの広報企画部門で3年連続入選など。 ○シティプロモーションの講演・取材が、市内外で約15件。広報専門誌、学会、自治体/マーケティングサミット、JIAM、地元中・高校など。 ○Twitter、Instagram、YouTubeフォロワー数、またInstagramでの「#いがいと福知山」/ハッシュタグ投稿数も順調に増加。 【現状の課題】大河ドラマや鬼の社会現象が落ち着いていく中で、令和2年度までの「全国に発信してその評価を市内に還流させる」手法が年々難しくなっている。		
改 善 策	上記の状況下で業績指標を伸ばしていくために、 ○「光秀マインドプロジェクト」など、市民をコアターゲットとして、市内からプロジェクトの協力者を増やし、その輪を同心円状に広げていくプロジェクトに、更にリソースを割いていく。 ○メディア記事掲載数の量のある程度保ちつつ、オウンドメディアを活用してコミュニケーションの質を上げていき、福知山市のファンづくりにつなげる。 ○オウンドメディアの立ち上げ・発信強化にここ数年取り組んでいるが、より効率・効果的に運用していき、持続可能なPR力をつける。 ○市役所の他部署や市民に対して、当事業を通して培ったノウハウを共有したり、支援を行うことで、各事業や活動の効果を高めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	他課や各団体との連携を深め、引き続き、戦略的なPRを推進する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	竜王戦福知山城対局事業							事業コード	820135					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132					
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課					所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	100	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略				決算付属資料	廃止/休止	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	将棋界最高位のタイトル戦「竜王戦」を通してまちのシンボルである福知山城などの地域資源と「まちづくりへの挑戦心＝光秀マインド」を全国発信し、大河ドラマ効果を持続させて関係人口・交流人口の拡大とシビックプライドの醸成を図り、地域活性化につなげていく。				
対象者	市内外の人々		対象者数	—	単位あたりコスト
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (実行委員会)				
委託先・実施主体等	第35期竜王戦第4局福知山城対局実行委員会				
事業概要 (箇条書き)	実行委員会形式で、 ○市制施行85周年記念事業として、令和4年11月8日(火)・9日(水)の2日間、福知山城で「第35期竜王戦」の第4局(藤井聡太竜王 対 挑戦者 広瀬章人八段)を共催(棋戦主催は、読売新聞社と日本将棋連盟) ○市民参加の関連企画を実施 こども将棋大会、前夜祭、大盤解説会、勝負めし・おやつ・ドリンク公募、オンライン将棋動画配信、福知山城フォトスポット開設 など 【その他利用特財】竜王戦福知山城対局事業基金繰入(ふるさと納税基金)/「基金繰入金」/392千円/42頁				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容		
	負担金	16,245	第35期竜王戦第4局福知山城対局 実行委員会への負担金		
	旅費	146	職員旅費		

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0						
	② 補正予算	0		17,000		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		0		17,000		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		8,500		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		8,500		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		17,000										
	③ 執行額	0		16,391										
	④ 執行率	0.0%		96.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	/		1.60 / 0.40		/		/						
	② 概算人件費	0		13,800										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		30,191										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	竜王戦福知山城対局事業(地方創生推進交付金)		種類	総務費国庫補助金		実績金額	7,622		決算附属資料	18		頁
			竜王戦福知山城対局事業(企業版ふるさと納税寄附金)			総務費指定寄付金			6,000			38		
			ふるさと納税寄附金(クラウドファンディング)			総務費指定寄付金			1,708			36		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	メディア記事掲載 広告換算額	円	— / —		— / —		9.4億 / 2億		/		
	福知山城入館者数	人	109187 /		39134 /		59711 / 50000		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	プレスリリース配信	件	— / —		— / —		27 / 15		/		
	単位あたりコスト						607.1				
	メディア記事掲載件数	件	— / —		13 / —		850 / 130		/		竜王戦福知山城対局事業
		単位あたりコスト					19.3				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○将棋界のスーパースター藤井聡太さんの異次元の活躍により、将棋への社会的関心が前回実施時(H30)からさらに高まっており、グルメなど他分野にも波及効果が及んでいる。その機を逃さず、市制施行85周年にタイトル戦を誘致した。 ○市の資産である福知山城を全面的に活用した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○事業費の98%は、この事業のために集めた特定財源でまかなった。国と府の交付金、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング型ふるさと納税にて1599万7000円を獲得し、財源確保においても大きな成功を収めた。なお、残りの2%は、ふるさと納税基金(39万2000円)と一般財源(1988円)である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○成果目標は、メディア記事掲載の実績を明らかにするため、前回(H30)には実施しなかった「広告換算額」を設定し、算出した。さらに、福知山城の入館者数も前年度の1.5倍となった。(R3 39,134人 ⇒ R4 59,711人) ○活動実績であるプレスリリース配信に力を入れ、メディア記事掲載件数は、前回の数字を大幅に上回っている。(H30 106件※転載含まず ⇒ R4 850件※転載含む) ○市内の各種団体、また前回の実施後に発足した将棋団体と、実行委員会を組織し取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【自己評価】前回(H30)の実績をベースに、実行委員会形式によって企画を増やし、大きな成果を上げることができた。 ○プレスリリース数(≒企画数)が、前回14件に対し、今回27件。前回は市内になかった将棋団体が実行委員会の委員として企画・運営を担い、オンラインを積極的に活用することで、約2倍の企画数となった。 ○対局中継の視聴者数は、前回は土日で174万人に対し、今回は平日で402万人。2.3倍となった。 ○「竜王戦勝負グルメ」として市内のごはん・スイーツ・ドリンクをブランド化。選ばれたメニューは開店前から行列ができる、該当商品の売上が3～4倍になる、全国から注文が来るなどの実績があったほか、メニューブックやキャンペーンで一体的に展開することで、選ばれなかったメニューもメディアで紹介されたり、将棋ファンが購入するなどの反響につながった。 ○福知山城の対局場所に将棋盤駒などの対局セットを置いてフォトスポット化。現在も設置中。将棋界最高峰の対局実施を伝えるとともに、来館者が自ら発信したくなるスポットをつくり、福知山城の価値を上げることに寄与。入場者数増加にも貢献した。 ○市内の子ども将棋教室が満員、市内中高一貫校で強豪を目指す将棋部が新設されるなど、市民・民間による将棋文化の発展に向けた活動が著しい。 【現状の課題】福知山城のさらなる価値向上をはかり、入館者数などを高水準で保つ。竜王戦レガシーを受け継ぎ、まちの文化振興につなげる。		
改 善 策	○引き続き市民とともに福知山城を活用した企画を行うことで、メディアなどでの露出をある程度高く保つとともに、まちのシンボルとしての価値を高める。 ○竜王戦レガシーを生かした福知山市の将棋文化の発展を市民主導で担っていき、市はその活動が継続していくための支援を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 他事業を統合	☒ 廃止／休止 (統合事業名:	☐ 予算拡充)	☐ 予算縮減 ☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)
--------	--	--	------------------------------------	--	--------------------

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大呂自然休養村管理事業							事業コード	220211		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充			
	施 策 名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132		
事業担当	所 属	25010000 産業政策部 農政課					所属長	小西 晴之			
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用することで施設の有効活用を図る。 適切に施設を運営することにより、豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図り、福知山ファンの獲得につなげる。					
対象者	施設利用者		対象者数	13,926	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,015		5,047		21,121		9,448						
	② 補正予算	3,331		979		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		8,346		6,026		21,121		9,448						
予算財源内訳	① 一般財源	8,203		5,883		13,978		9,305						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		7,000		0						
	⑤ その他特財	143		143		143		143						
決算情報	① 流充用額	0		391										
	② 配当予算	8,346		6,417										
	③ 執行額	8,295		6,417										
	④ 執行率	99.4%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.10	/	0.00	1.05	/	0.00			/				
	② 概算人件費	8,800		8,400										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,095		14,817										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	電柱占用料(農政課)		種類	農林使用料		実績金額	143		決算附属資料	10		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	宿泊者数	人	1033	/ 1760	725	/ 1840	1222	/ 1930	/ 1320	1550	
	キャンプ場利用者数	人	2347	/ 800	1668	/ 900	2667	/ 1000	/ 2050	2800	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設開館日数	日	279	/ 311	226	/ 311	315	/ 311	/ 311	311	
		単位あたりコスト	39.4		36.7		20.4				
			/		15 /		/		/	大呂自然休養村管理事業	
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	地域にとって重要な拠点施設で、農村地域へ都市住民を誘客し、地域の活性化を図るといふ施設の設置目的に沿った運営を行うことで福知山ファンの獲得につながることから、施設を存続させる必要性は高い。 令和4年度末での現指定管理期間の終了に伴い、今後の施設のあり方について検討を行い、令和5年度から令和9年度までの5年間を指定期間として新たに指定管理者を選定した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	指定管理者制度を採用し、宿泊観光施設という施設の特性上、市の直営ではできないサービスについて民間ノウハウを活用して提供することで、施設利用者の増加やコスト削減を図る施設運営を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	依然として宿泊や宴会等に対する需要の落ち込みといった新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、積極的な自主事業の実施により施設利用者の増加が図られており、福知山ファンの獲得に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊や宴会等に対する需要の落ち込みを受け宿泊者数は目標値に届いていないものの、キャンプ場利用者数の増加や宿泊者及びキャンプ場利用者の半数以上は市外からの利用であることから、事業目的に沿った施設運営ができています。 さらなる施設利用者数の増加を図る取り組みの検討が課題となっている。		
改 善 策	ウィズコロナ、アフターコロナにおける今後の施設運営について検討を行うとともに、より多くの人に施設を知ってもらうために、指定管理者と連携しながら市としても施設のPR強化を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	・今後も指定管理者と連携を図りつつ施設の健全な運営を継続し、福知山ファンの獲得につなげる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---